

# 保護者文庫だより 春号

学習センターでは、子育てに励む保護者の方を支援すべく保護者文庫を設置しております。詳しくは父母の会総会でお渡しした保護者文庫一覧を参考になさってください。

図書はお子さんを通じて貸出しております。保護者文庫にかぎらず学習センターにある図書の貸出も行いますので、是非ご利用ください。新刊書の情報については、毎月お子様に配布しております「学習センターだより」をご覧ください。

## 『何を言っても聞かない思春期の我が子が「ちょっと頑張ってみようかな」と言い出すシンプルな3つの秘訣』

木村 玄司 著/KKロングセラーズ

一昔前の某塾の宣伝で「見つけーてあげるよ～君だけの～やる気スイッチ～♪」と歌っていたCMがありました。その歌を聞いて「我が家の子どものスイッチはどこに？」と思った保護者の方もいるのではないのでしょうか？

この本の著者は勉強でも部活でも「ちょっと頑張ってみようかな」と思わせるためには、子どもに対して「何があってもあなたのことを大切に思っている」という姿勢をもち、褒めるのではなく認めてあげて、存在そのものを大切にしていける。そして、物事を自分で決めさせることが大切だと語っています。そうすると何事も自らやろうとするようになるそうです。

私の中でとても印象に残っている男子生徒がいます。素直で、優しく、先生にも友人にも後輩にも細やかに気を遣い、何事も責任を持ってこなし、「家ではだらけてしまうから」と学校で残って勉強をする素晴らしい生徒でした。私はどうやったらこんなにいい子に育つのだろうと思ひ、生徒本人に「どんな風に育てられたの？」と聞いたことがあります。彼は「甘やかされて育った」と照れながら言っていました。彼の言う「甘やかされていた」とは彼の存在を認め、黙って見守り、さらに家庭に安心して過ごせる居場所を作ってもらっていたということではないのでしょうか。彼の親はこの本に書いてあるような内容のことをやってきていたのではないかと思います。

親のちょっとした心がけで子どもが変わるということを、実体験を交えて語っているこの本はとても参考になります。ぜひご家庭でも実践していただきたいと思います。

## 『口に出せない気持ちをわかってほしい 思春期の女の子が親に求めていること』

中野 日出美 著/大和出版

子どもとかかわる際にあなたはどんなスタンスで接していますか？「親としての威厳をもって」「時に厳しく時に優しく」など、様々な対応の仕方があるでしょう。ただ、その中に「寄りそう」「向き合う」「抱きしめる」という姿勢はありますか？親のプライド、世間体が邪魔をいませんか？

思春期に入ると体の変化や、人間関係、勉強など、様々な問題を抱えます。そんな時に親が「寄りそい」「向き合い」「抱きしめる」という行動をとると子どもは安心して生活できます。

女の子はデリケートですから、様々なヒントが記載されているこの本を参考にさせていただいて、その時々に応じた対応をしていただきたいと思います。